

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

上場会社名 SBIリーシングサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5834 URL <https://www.sbil.s.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 公平
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉原 寛 TEL 03(6229)1080
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画を公開予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	49,607	53.7	7,977	65.1	7,309	64.1	5,005	62.0
2025年3月期第3四半期	32,265	△7.7	4,830	23.2	4,453	21.4	3,088	19.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,783百万円 (-84.5%) 2025年3月期第3四半期 2,050百万円 (△36.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 633.18	円 銭 619.18
2025年3月期第3四半期	396.44	392.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 105,093	百万円 27,365	% 26.0
2025年3月期	105,777	25,173	23.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 27,285百万円 2025年3月期 25,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 170.00	円 銭 170.00
2026年3月期	—	50.00	—		
2026年3月期(予想)				165.00	215.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2026年1月29日)公表いたしました「期末配当予想の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	63,000	50.3	9,400	39.7	8,300	36.4	5,650	28.7
								円 銭 714.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年1月29日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	7,926,800株	2025年3月期	7,878,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	74株	2025年3月期	74株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	7,904,695株	2025年3月期 3Q	7,790,969株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明資料の入手方法について)

当社は、決算説明動画（録画形式）を当社ウェブサイトにて公開する予定です。

決算説明資料につきましても当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、消費者物価の上昇率に鈍化傾向がみられ、個人消費は緩やかな回復傾向にあります。また、企業収益は全体として高水準を維持しており、日経平均株価は史上最高値を更新するなど、国内景気は成長軌道への回帰が期待されています。

一方、消費者物価の上昇により、実質賃金は前年比マイナスの水準で推移していること、米国の関税政策や中国人観光客減少への懸念等が国内経済に与える影響については引き続き注視していく必要があります。

2025年12月には同年1月以来となる日銀による利上げが行われ、また、長期金利についても上昇傾向が続いております。日米金利差が縮小傾向にあるものの、財政拡張懸念により円安傾向が継続しており、金融・為替市場の動向についても継続的な分析・対応の必要があります。

海外経済においては、米国では消費者物価の上昇率に鈍化傾向がみられる中、F R Bによる3会合連続での政策金利引き下げが行われました。堅調な個人消費に支えられ、同国景気は引き続き底堅く推移するものと見込まれます。一方で、中東情勢やウクライナ情勢といった地政学的リスクに加え、米中貿易摩擦についても収束の兆しが見えないなど、国内外の社会経済環境は、依然として不透明な状況が続いております。

このように、当社グループを取り巻く国内外の社会経済環境は依然として不安定かつ変動性の高い状況が続いており、特に日米の金融経済動向、為替変動については引き続き注視していく必要があります。

当社グループの事業領域である航空業界では、航空旅客需要は拡大基調を維持しており、特に国際線を中心に堅調に推移しました。一方で、航空機メーカーにおけるサプライチェーンの課題に加え、部品・材料価格の上昇や慢性的な人手不足を背景としたコスト上昇圧力が継続しています。さらに、金利・為替の変動や地政学的リスクに伴う運航コストの上昇などの経営課題も依然として残っています。また、カーボンニュートラルの実現に向けた環境対応など、構造的かつ長期的な変化についても状況を見極めていく必要があります。

海運業界では、中東情勢やウクライナ情勢等を受けた航行ルートの変更や航行日数の長期化などに伴い、船価や運賃などの海運市況は船種や市場環境によって異なるものの全体として引き続き概ね堅調に推移しておりますが、引き続き国際情勢や社会経済環境の変化に対しては注視していく必要があります。また、新燃料船の導入や運航効率の改善といった環境規制対応も長期的な課題として認識されています。

このような環境の中、商品組成においては、引き続き、J O L C O・J O L、航空機・船舶、リース期間の長短を組み合わせた多様な品揃えを意識した案件組成に取り組み、投資家にとって魅力ある商品を提供すべく案件組成に注力してまいりました。

商品販売におきましては、J O L C O商品は、十分な商品在庫の積み上げを行ったこと、積極的な営業推進を行ったことにより、第3四半期累計として過去最高の販売金額となりました。また、J O L商品については、顧客ニーズを的確に捉えた提案・販売推進により累計6機を販売しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高49,607百万円（前年同四半期比53.7%増）、営業利益7,977百万円（同65.1%増）、経常利益7,309百万円（同64.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,005百万円（同62.0%増）となりました。

また、商品組成金額は300,573百万円（前年同四半期比30.0%増）、商品出資金等販売金額は103,411百万円（同28.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は93,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,154百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が4,146百万円、商品出資金が8,687百万円それぞれ増加しましたが、前渡金が6,446百万円、販売用航空機等が6,701百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は11,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ470百万円増加いたしました。これは主に、賃貸資産が減価償却により494百万円減少しましたが、繰延税金資産が891百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は105,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ683百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は54,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,599百万円減少いたしました。これは主に、コマーシャル・ペーパーが2,000百万円増加しましたが、短期借入金が10,499百万円、1年内返済予定の長期借入金が7,630百万円、未払法人税等が534百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は23,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,723百万円増加いたしました。これは主に、社債が6,000百万円、長期借入金が7,723百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は77,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,876百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は27,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,192百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益5,005百万円、繰延ヘッジ損益の減少1,221百万円及び剰余金の配当1,735百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、JOLCO商品の販売金額が伸長し、利益についても予想を上回る見通しであることから、2025年4月28日の「2025年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2026年1月29日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,936	13,082
営業未収入金	937	991
前渡金	6,446	—
商品出資金	51,778	60,465
販売用航空機等	25,488	18,787
その他	1,156	261
流動資産合計	94,742	93,588
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸資産	7,511	7,017
賃貸資産合計	7,511	7,017
社用資産		
建物附属設備	56	65
工具、器具及び備品	3	4
社用資産合計	60	70
有形固定資産合計	7,571	7,087
無形固定資産		
のれん	204	165
ソフトウエア	52	42
無形固定資産合計	257	208
投資その他の資産		
関係会社株式	344	442
関係会社出資金	117	123
繰延税金資産	2,633	3,525
その他	109	118
投資その他の資産合計	3,205	4,209
固定資産合計	11,034	11,505
資産合計	105,777	105,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	51,000	40,500
コマーシャル・ペーパー	3,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	8,632	1,002
未払金	377	716
未払法人税等	1,898	1,363
契約負債	4,960	4,674
賞与引当金	174	149
その他	763	799
流動負債合計	70,806	54,206
固定負債		
社債	5,000	11,000
長期借入金	4,770	12,493
資産除去債務	27	27
固定負債合計	9,798	23,521
負債合計	80,604	77,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150	1,205
資本剰余金	4,031	4,085
利益剰余金	19,789	23,059
自己株式	△0	△0
株主資本合計	24,971	28,350
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	156	△1,064
その他の包括利益累計額合計	156	△1,064
新株予約権	44	79
純資産合計	25,173	27,365
負債純資産合計	105,777	105,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	32,265	49,607
売上原価	24,722	38,318
売上総利益	7,542	11,289
販売費及び一般管理費	2,711	3,311
営業利益	4,830	7,977
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	14
商品出資金売却益	318	360
為替差益	—	0
その他	1	1
営業外収益合計	320	377
営業外費用		
支払利息	595	898
支払手数料	87	115
社債発行費	—	30
為替差損	15	—
その他	—	1
営業外費用合計	698	1,045
経常利益	4,453	7,309
税金等調整前四半期純利益	4,453	7,309
法人税、住民税及び事業税	1,982	2,657
法人税等調整額	△618	△352
法人税等合計	1,364	2,304
四半期純利益	3,088	5,005
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,088	5,005

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,088	5,005
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△1,038	△1,221
その他の包括利益合計	△1,038	△1,221
四半期包括利益	2,050	3,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,050	3,783

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社においては、オペレーティング・リース事業に必要な運転資金の効率的な調達を行うため、金融機関と当座貸越契約及び貸出コミットメントライン契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	92,550百万円	103,250百万円
借入実行残高	51,000	37,500
差引額	41,549	65,749

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	506百万円	509百万円
のれんの償却額	39	39

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、オペレーティング・リース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。